

令和 8 年度 第 1 回図書館協議会 会議録

開催日時	令和 8 年 6 月 29 日 月曜日 13 時 30 分から 15 時 00 分まで
開催場所	二宮町町民センター 3 A クラブ室
出席者	和田智司教育長、土屋定夫会長、内山留美副会長、北川慶太委員、鈴木小百合委員、豊田美香子委員、丸野薫委員、宮入秀紀委員、三宅栄子委員
欠席者	0 名
事務局	松本教育部長、武井生涯学習課長、込山図書館班長、鈴木図書館班主任主事
その他	傍聴者 1 名

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 委員等挨拶

4. 委員等紹介

5. 会長及び副会長の選出

互選により、会長に土屋定夫委員、副会長に内山留美委員を選出。

6. 議 題

(1) 図書館利用状況等について

(会長)

資料 32 ページ蔵書統計について、除籍の数 (9,797 冊) はかなり努力した結果なのか。

(事務局)

生涯学習センターラディアン・図書館の大規模改修を前に、書庫も余裕がないこと、また、改修期間中に IC タグを導入する計画であり IC タグを貼ってすぐに除籍することにならないように、図書の蔵書数所蔵 20 万冊を目標に除籍を進めている。

(会長)

図書館の業務として、購入より除籍の方が時間・労力がかかる。除籍の場

合は、状態やどのくらい使われているか等確認が必要になる。さらに事務手続きもある。9,000冊超の除籍はかなり大変だったと思う。

(委員)

資料 28 ページの利用状況について。入館者数の中に、本を借りないが大学生や高校生等勉強をする人、本を手にとってその場で読む人の数も入っているのか。

(事務局)

階段脇にある盗難防止ゲートの位置で入館者数を数えている。新聞を読みに来る方や学習コーナーを利用する方も入っている。

(委員)

電子書籍の貸出はないのか。

(事務局)

二宮町は導入していない。町の方針として、ラディアン周辺に人が集うことを目指して大規模改修の計画を進めているところで、電子書籍を家でも読めることよりも図書館を使っていただくことに重点を置いている。

(委員)

平塚市では電子書籍を導入していて、学校での読書活動には借りに行かなくても様々な本を読めるので良いと思ったが、人が集うということも理解できた。

(委員)

資料 28 ページ年代別貸出者数について、傾向としてどの年代が増えてどの年代が減っているのか、感覚でも良いので分かるか。

(事務局)

乳幼児期から小学生低学年は親子での利用が多いが、塾や習い事が始まる小学校高学年以降は少なくなってくる傾向がある。一方で、ラディアンまでは来る児童・生徒がいる。そこから一步図書館に入ってきてもらうきっかけ作りが大切だと考えている。60代、70代の方は、平日の利用が多い印象がある。

(2) 令和7年度図書館の主な取組・事業について

質疑なし

(3) 令和 8 年度図書館の主な取組・事業について

(会長)

予算の中で図書関係の購入は全て備品になっているのか。

(事務局)

図書の購入は全て備品購入費となっている。ラディアン開館当初は、消耗品の中からも図書購入をしていたが、今はない。現在、消耗品としては、新聞、雑誌、図書修理用のフィルム代等がある。家具等は備品台帳を作っているが、図書はデータベース管理となっているので、除籍の際には、データベースからリストを使って処理している。

(委員)

大規模改修の工事期間をもう一度確認したい。

(事務局)

36 ページにある通り、令和 9 年 1 月から令和 10 年 12 月の 2 年間、生涯学習センターラディアン全体で休館予定である。

(委員)

2 年間閉館することは町民にとって大きな打撃。閉館前の 12 月までにできることもあると思う。例えば、小学校 2 年生が行っている図書館見学を小学校 1 年生、幼稚園や保育園の子に対して行うこともできるのではないかと思う。また、令和 9 年度の予算にも関わるが、どのようなサービスが出来るのか等休館中のアイデアを皆様に伺いたい。

(事務局)

小学校 2 年生の 2 学期に行っている見学は、生活の教科書に記載があり、町の図書館に行って借りてみようという单元になっている。来年度以降はどうするのか考えなければならないと思う。休館中、わらべうたやおはなし会は、町民センターでの開催を予定している。保健センターでも昨年度から乳幼児の保護者の交流の場である「でんでんむし」に参加し読み聞かせを行っており、今年も 3 回予定しているので、このような事で、絵本に触れる機会を閉館期間中も作っていききたい。

(委員)

図書館の見学については、幼稚園の年長児を連れていくと自分の好きな場所に行き、様々な種類の本を手にする。司書の方が分類の説明もしてくれて、幼稚園児でも有意義だった。12 月までの間に、幼稚園、保育園、小学校の他の学年でも声をかけてもらえたらと思う。

(事務局)

小学校の方は、校長会でも声かけをしてみる。

(委員)

学習指導要領では図書館に行くのが必須ではなくて、1, 2 年生の生活科の中で、2 年生は「公共施設を利用してみよう」という項目があり、その一つとして図書館がある。休館期間中には町その他公共施設に行き、図書館にはリニューアル後に総合の時間を使う等して行くのも良いと思う。

(会長)

小学校 6 年間の中で、図書館に行ける機会を作ればよいと思う。

(副会長)

工事期間の 2 年間で空白になってしまうことを心配している。予約をして受け取る以上に、通常の開館時に書架から本を選んで借りている人が多いと思う。臨時図書室を設ける、電子図書館を入れる事も良いと思う。電子図書館を入れることで来館者が減るという統計は出ておらず、今まで図書館が開いていない時間帯に利用する人もいるといったプラス面もある。このように、閉館期間中の代替りのものを考えた方が良いと思う。

例えば、仮設で図書を置くスペースを設ける、移動図書館を稼働させる等もう少し挑戦してみるのも良いかもしれない。

(事務局)

先ほど議題(1)の中で、貸出をしない方の利用についての質問があったが、現在、生涯学習センターラディアンで、閉館期間中の居場所に関するアンケートを行っている。本の扱いは、管理の問題もあるので、できることを探っていく。

ラディアンが出来る前から移動図書館車があったが、平成 17 年に廃車になった。移動図書館車は、決まった時間にその場に行ける人のみに利用が限られるので、生活が多様化している中でどのように使ってもらえるのか難しい。その分、幼稚園や保育園で手に取ってもらえる団体貸出を PR して、利用し

てもらえるようにしたい。

(委員)

団体貸出では何冊貸出できるのか。

(事務局)

1 団体一度に 300 冊までになっている。

(会長)

学校、幼稚園、保育園以外はどうするのかというのが問題になってくると思う。

(事務局)

保健センター、子育てサロン等での赤ちゃんから乳幼児期の方に対する連携、高齢の方が借りやすいように窓口でのサポートも考えていく。

(委員)

小学生のうちに利用カードを作って本を借りるという経験は、大きいと思う。転校してきて図書館に行った事の無い生徒には、「こういう書類があれば、行ってカードを作れるよ。」というコミュニケーションもできている。その中から図書館のハードユーザーになる子もいるかもしれない。この流れが止まってしまうことを心配している。中学校の図書室に来ている図書館ボランティアから、「図書館閉まるがどうなるの？」という心配の声も聞かれた。図書館に通うことを楽しみにされている方も多いと思うので、本が並んでいて触れられる環境は大切だと感じる。そのため、どのような形であってもそのような機会を作ってもらえるとありがたい。

(事務局)

図書館の窓口でも同様の質問をいただく事もあるが、まだ工事期間中の詳細について、確定していないので周知できない部分もある。図書館に行くのが楽しみな方もいるので、窓口だけでなく、本も上手く紹介するなどしてアピールしていきたい。

(会長)

新しい図書館に生まれ変わるというメリットと閉まるというデメリットの間でジレンマがあるかと思うが、それを減らせるようにしてほしい。

(4) その他

※ 非公開

7. 閉 会